

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業
------	----	----	------	-------

1次評価のみ対象分

事業名	455	健康教育事業(負担金分)	区分	01	一般会計
基本施策	01	10万市民の健康を維持する	コード	04	衛生費
施策	2	ライフスタイルに応じた保健予防対策の推進	項目	01	保健衛生費
			細目	01	保健衛生総務費
			細々目	102	保健事業
				02	健康教育事業(負担金分)
基本計画該当頁	58-60	担当部署	コード	603000	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号	7		名称	島ヶ原支所 健康福祉課	榊光裕
					連絡先
					59 - 2163 (内線) 30

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	40歳以上の市民 (対象件数)	生活習慣を見直すと共に健康についての理解と関心が高まる。
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等 老人保健法
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>こころの健康づくり教室の実施</li> <li>住民健康づくり勉強会の実施</li> </ul>	状況変化等 教室の後も健康づくりを継続することが必要であり、継続して健康づくりに取り組める環境づくりが大切である。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	人 千円
委託先	
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
一般健康教育	回	目標 27 実績 27	目標 25 実績 18	20	20
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
健康教育参加者数	健康に関心が高く、知識を得て実践をしたいと考えている人がどれくらいいるかにより判断する。	人	目標 200 実績 295	目標 200 実績 189	200	200
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	生活習慣を見直し、健康づくりに取り組むためには各教室などの開催は必要であるので今後も継続していきたい。
有効性	4	参加する人の固定化が見られるが、やぶっちゃんの湯健康づくり棟を拠点とした健康教育の実施は、健康づくりには必要な事業である。
達成度	4	今年度計画していた事業を全て実施することが出来た。
効率性	4	講師の報償費も最小限に留め、経費の節減に努めているので、今後も引き続き節減に努めながら実施していきたい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	参加者が固定化してきているので、啓発方法や教室の内容等を検討していきたいと考えています。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	事業内容	報償費		(千円) 135	報償費		(千円) 55	報償費		(千円) 60	報償費		(千円) 60
		需用費		78	需用費		32	需用費		26	需用費		30
		使用料及び賃借料		51	役務費		2	役務費		2	役務費		2
		役務費		17									
進捗率 (%)		事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)		
		281			89			88			92		
事業投入人員		人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600
フルコスト (A) + (B)		3,881			3,689			3,688			3,692		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	281	89	88	92
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	281	89	88	92
	計	281	89	88	92
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				